



編集・発行

国立大学法人鹿児島大学男女共同参画推進センター 〒890-8580 鹿児島市郡元1-21-24

TEL 099-285-3012 E-mail: gender@kuas.kagoshima-u.ac.jp https://www.kagoshima-u.ac.jp/atsuhime/

■ご挨拶 平成30年度のセンター活動計画について センター長 橋口 知（法文教育学域教育学系）

男女共同参画推進センターの活動は、「一人ひとりが伸びやかに、自分らしく輝くために」を目指しているものです。開設当初は女性研究者支援を中心とした活動でしたが、この数年間は性別を問わない取組として展開してきています。その殆どがセンター単独での実施ではなく、学内外の多くの方々にご協力いただいております。各学系等におきましても、実情に応じた男女共同参画推進に係る基本方針を策定して、責任者や委員会組織のもとに取り組みましておられますことに感謝いたします。

センターは、本年7月に同じフロアですが場所を移転し、少人数での打合せや個別相談が実施可能なスペースもできましたのでご活用ください。

そして、10月には鹿児島大学さつつん保育園が開園いたします。ハード面の整備に加えて、皆様のご提案やご要望をセンターの活動に反映したり情報提供したりできるよう交流会の定期開催やホームページのリニューアルも予定しています。引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■取組紹介

男女共同参画トップセミナー

吉武 博通氏（首都大学東京理事、お茶の水女子大学監事、筑波大学名誉教授）を講師として、平成30年7月5日に男女共同参画トップセミナーを開催し、前田芳貴学長をはじめ役員、教職員等109人が参加しました。



講演後には、「非常に興味深い内容だった」「今後の参考としたい」といった声が多く参加者から聞かれ、本学における男女共同参画・ダイバーシティ研究環境実現への更なる意識醸成につながる機会となりました。

「大学改革とダイバーシティ」と題した講演では、日本における男女共同参画と女性研究者活躍支援の取組やそれらの評価と課題等についての話があったほか、高等教育を取り巻く環境と課題等を踏まえ、女性の活躍と多様性の尊重は活力ある組織をつくる上で不可欠であり、大学改革の根幹をなす重要な課題として取り組むべきであるといった指摘がなされました。



museカフェ（ランチタイム交流会）

教職員や大学院生を対象に、キャリア形成等に係る情報提供やメンターとの交流機会として定期的に開催しています。

4月は、4月着任の新任教員とメンターが交流し、新しい環境での戸惑い等へのアドバイスや情報提供がなされました。6月には、郡山千早教授（医学系）によるミニレクチャー「統計で扱う変数と基本的な統計手法」があり、大学院生等13人が参加しました。参加者から、参考書について質問等が出されアドバイスがありました。



男女共同参画展～附属図書館連携企画

鹿児島大学附属図書館で開催した男女共同参画展では、国や県の男女共同参画に係る事業やデータ等を紹介したり、附属図書館選定の関連本を展示・貸出ししたりしたとともに、働き方やライフイベント等を自分事として考えてもらえるようにアンケートも実施しました。



■地域における取組紹介 第1回鹿児島県内大学等男女共同参画連携会議

平成30年7月19日（木）に、鹿児島県内の高等教育機関、6大学、1高専、4短期大学及び鹿児島県（男女共同参画室・課関係者）、12機関24人が参加して、第1回鹿児島県内大学等男女共同参画連携会議が開催されました。

鹿児島県総務部男女共同参画室長の挨拶に続き、各機関の取組紹介から、女性の登用状況や環境整備等の情報共有が図られました。また、本学産学・地域共創センターの牧野暁世特任助教からCOC+事業の取組紹介による話題提起の後、大学における就職希望の学生に対する福利厚生や職場環境についての情報発信の方法や、県内企業のインターンシップ受入状況などについての意見交換が行われ、地域との連携を意識した各機関の今後の取組につながる有用な機会となりました。



牧野先生

各機関参加者集合写真

鹿大の女性研究者に Close-up!



朱 碧蘭 准教授（工学系）

2003年3月 東京農工大学工学部情報コミュニケーション工学科 卒業
 2004年3月 同工学研究科情報コミュニケーション工学専攻博士前期課程修了
 2007年3月 同 工学府電子情報工学専攻博士後期課程修了
 2007年4月 同 情報工学専攻ユビキタス&ユニバーサル情報環境専修 特任助教
 2007年4月 同 大学院工学研究科情報工学科 助教
 2018年4月 鹿児島大学学術研究院理工学域工学系
 情報生体システム工学専攻 准教授

★研究テーマは何ですか？

パタン認識、機械学習、確率モデル、統計的な多変量解析などの技術を活かして、手書き文字認識、話者音声認識、会議音声データの解析、知能的な会話システムに関する研究を深め、それらの技術の融合による人と自然に会話できる対話ロボットシステムの実現をめざしています。

★研究者を目指した理由を教えてください。

学部4年生から研究室に入り、研究に専念し、楽しく研究生活を送ることができました。博士学位を取得したころ、同じ研究室で助教のポストがありましたのでそのまま残り研究を継続して来ました。

★研究の上で苦労されたことはありますか？

論文をいっぱい読み、よい方法を設計し、一生懸命に実験しましたが、なかなか思うとおりに行かず、かなりショックを受け落ち込んだこともありました。でも、一生懸命に考え直した結果、問題点を見つけ出し、ようやく実験結果につながりました。

★日頃のモットー

しっかり真面目に諦めずにやり通すことです。

★尊敬する人物とその理由は？

同じ研究をやっていた先輩です。研究態度が厳格的で、原理をしっかりと理解し、研究成果を多く出しているからです。

★これから研究者を目指そうとする方へのメッセージ

自主性を大切に、全てを他人に聞くのではなく、適切な問題・課題を設定し、自ら解決方法を考案・設計し、それらを適用してみるにより達成の喜びを味わうとともに、自ら課題解決する経験を積み重ね、自分に自信を持たせることが大事です。



研究の様子

■工学系における男女共同参画の推進 ～工学分野での女性教授・准教授誕生をめざした取組～

理工学研究科工学系には現在116名の教員が在籍しています。長らく女性教員ゼロの状態が続いていましたが、2012年に女性教員特別枠による公募によって助教の採用に至りました。また、学科毎の採用枠を計算する際に女性教員は0.7名としてカウントすることや、工学部長裁量経費からのスタートアップ資金の提供といった優遇策も実施し、各学科の積極的な女性採用を促してきました。2017年度には3名の助教が在籍するに至りました。次のステップとして、2017年度に女性限定の教授および准教授の公募を開始し、2018年4月には准教授が着任されました。さらに公募は継続しており、近い将来、工学部として最初の教授が誕生することでしょう。

そもそも、工学部の女性教員が極端に少ない原因は、大学で工学を学ぶ女子学生が少ないことです。文部科学省の学校基本調査（2017年度）によるデータでは全国工学系的女子学生の割合は14.5%で、大学院修士課程では12.6%です。ちなみに、現在の鹿児島大学工学部と理工学研究科工学系の場合はそれぞれ14.1%と9.2%です。したがって、中期的には10%程度つまり10名を超えることが目標となるでしょう。

本学部も加盟している国立大学55工学系学部長会議においてもホームページで女子中学生や女子高校生に工学の魅力をアピールしています。工学部の卒業生の主たる就職先である製造業においても、男女共同参画の推進は行われております。したがって、全国規模で工学分野においても学ぶ側、教える側ともに男女の差が今よりも小さくなっていくことが長期的には期待されます。 執筆者：工学系男女共同参画担当責任者 甲斐 敬美 教授



■JST女子中高生の理系進路選択支援プログラム



鹿児島大学は、科学技術振興機構（JST）平成30年度女子中高生の理系進路選択支援プログラムに採択されました。

今後、実施担当部局である理学部と農学部、水産学部の協働により、鹿児島県教育委員会、鹿児島県男女共同参画室等と連携して、「かごしま☆科学のタネまき塾～育て！未来の理系女子～」というタイトルで、理系進路相談会や企業見学会、科学体験塾等が、本年度から2年間に渡って実施されます。

鹿児島県的女子生徒の進路選択における理系への意識改革が進むよう、当センターもロールモデル集作成を担当しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

■女性研究者在籍状況

平成30年7月1日現在

全体 20.1% (242人)
 教員 18.8% (217人)
 専任教員 17.7% (185人)

Information

男女共同参画推進センターは、大学本部事務局2階フロア内で移転しました。相談スペースもできましたので、ライブイベント等に係る問い合わせなど、お気軽にお立ち寄りください

<今後の予定>

- 平成30年度後期研究支援員制度募集中（8月10日締切）
- museカフェ～ランチタイム交流会 8月8日（水）
- 鹿児島大学異分野融合交流会（K-ips） 9月4日（火）
- 第10回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in 宮崎 9月14日（金）
- 学長と研究者との懇談会 9月19日（水）
- スキルアップ（英語プレゼンテーション）セミナー 9月28日（金）